

地域別勉強会助成制度実施報告

ミニ小祝塾がスタート!

⑥ WESTブロック編

Report

紀の芽の会 (1月12日)

小祝先生による勉強会が開催されました。参加者は8名。これまで小祝先生からは2度施肥の説明を受けてきており、3度目の今回は日頃気になっていた追肥及び信末堆肥の施用の時期などについて教えていただきました。また、「桃の剪定」についても説明して頂きました。園地で生産者が各自1主枝ずつ剪定を行ない、それぞれの評価を頂きました。



一主枝ずつ剪定を行ない小祝さんに評価をいただいた

私自身これまで自己流で剪定をやってきたのですが、このやり方で良いとの返事を頂きました。それは、常に考えながらやっていることですが、樹全体によく日が当たりキズの少ない実ができるか、これからの作業がしやすいように仕立てられているか、ということです。桃の甘味や傷みは、施肥とも関係があることはもちろんですが、日の当たり具合によって相当左右されま



す。今回勉強したことを着実に実践し成果を上げていきたいと思います。4月に入り葉が出、実がなった時、どのような違い(実のなり具合、大小、個数、そして下枝の実まで日があたるかどうか)が出るのかこれからの楽しみとしたいです。

(報告: 嶋 正吾さん)

丹波有機の会 (1月13日)

小祝さんを招いて勉強会を開催したところ、思わぬたくさんの生産者の参加があり、驚きとともに感動さえおぼえました。徳島、滋賀、淡路島、そして丹後の方々が遠方より参加され大変ご苦勞様でした。今回は、私たちのグループを中心に少人数の集まりになるだろうと考えていたので段取りが悪くみなさん方にご迷惑をかけたのではないかと心配しています。



午前中の圃場見学風景

勉強会は、午前中、私たちの会員の東浦さんの圃場見学からスタートしま

した。大根、白菜、小松菜、ほうれん草の畑でしたが、小祝さんの指摘では、土作りの基礎的なところはほぼ出来ているが、その後の肥料設計がまだ充分ではないというお話でした。その後春日の堆肥場、市島町の堆肥センターを見学しました。以前、小祝さんも一度



たくさんの参加者に講義も熱気を帯びました

見学されたところで、前と比べるとすいぶん良くなっている、と言われほっとしました。春日町の農業センターで昼食をとりながらもいろんな意見交換が出来、参加されたみなさんの熱心さに感心させられました。

午後からの講義は、野菜作りの基礎編ということで、土作りの基本、必要な肥料成分、ミネラル分、などのお話がありました。基礎編といってもかなり突っ込んだ内容もあり大変興味深いものでした。初めて参加された方も半数近くおられ、皆さん熱心にメモをとられていたのが印象的でした。

「土壌の成分をつねに把握し自分なりに施肥設計をたて、データとして残していくことが大切だ、これから求められる野菜は見栄えだけではなく、私たちが食べて栄養になるものが求められる。生産者もそのような野菜作りを目指して欲しい」というものでした。

約30名の参加者があり、盛況のうちに講義が終わりましたが、それぞれに得るものがあつたのではないかと喜んでいきます。これからもこのような地域で行なう勉強会が各地で取り組まれ全体のレベルが向上していくことが大切だと感じました。

(報告: 山本敏行さん)